

関西大学堺キャンパス すこやか教養講座（第 2 期）

現代社会において、すこやか（健やか）で豊かに生きていくためには、教養が不可欠です。そこで、関西大学人間健康学部は堺市と連携して、市民の皆さんに「すこやか」な日々を送って頂くために、第 2 期の教養講座を開催します。各分野のトップランナーの講師陣が、現代の教養を分かりやすくお話しします。

第 1 回 5 月 21 日（土）14：00～15：30

石坂洋次郎の時代



関西大学人間健康学部長 竹内 洋

石坂洋次郎（1900～86）の作品や映画は、青春小説や青春映画として戦後日本の明るさとともにありました。石坂洋次郎とはどのような人で、かれの作品がなにゆえかくもヒットしたかをみながら、逝きし昭和時代をふりかえります。

第 2 回 5 月 28 日（土）14：00～15：30

『青年の主張』が消えた理由



京都大学大学院教育学研究科准教授 佐藤 卓己

「NHK青年の主張」は 1955 年にはじまり 1989 年に終了した「昭和のメディア・イベント」です。「成人の日」にテレビ中継された全国大会は皇太子ご夫妻が臨席する国民的番組の一つでした。この番組の変遷を通じて青年問題の現在を考えます。

第 3 回 6 月 11 日（土）14：00～15：30

子どもの貧困について考える



関西大学人間健康学部教授 岡田 忠克

子どもの貧困の問題は深刻です。貧困が子どもの教育や就職等の生活上のチャンスを奪い、その後の人生にも大きな影響を与えるといわれています。この生活の格差を生み出す背景について考えていきます。

第 4 回 6 月 25 日（土）14：00～15：30

健康的な睡眠『夢』世界



関西大学人間健康学部教授 三浦 敏弘

現在社会の人間は、極めて複雑多様な生活を強いられている。本講座は、身体行動に関する様々な事象から人間のメカニズムと生活文化、スポーツ行動や生活設計を考える。特に、日常生活における「睡眠」や「夢」などを中心に健康の在り方を考えます。

第 5 回 7 月 2 日（土）14：00～15：30

高齢社会と男性の生き方



京都大学大学院文学研究科教授 伊藤 公雄

2012 年以後、団塊世代が次々と 65 歳に突入していきます。超高齢社会を私たちは目前に控えているのです。この超高齢社会において、生活能力もまた地域ネットワークももたない男性たちは、どのように生きていかなければいよいのでしょうか。高齢社会における男性の生き方について、男女ともに、じっくり考えてみませんか。

第 6 回 7 月 16 日（土）14：00～15：30

『かくれんぼ』ができない子どもたち



関西大学人間健康学部教授 杉本 厚夫

「かくれんぼ」ができない子どもがいます。どうしてでしょうか？子どもたちの遊びを通して、その背景にある社会を見ていきます。そして、子どもたちが笑顔で遊べる社会を構築していくためには、どうすればいいのかを一緒に考えます。

場 所：関西大学堺キャンパス

南海電鉄高野線「浅香山」駅下車 徒歩 1 分
(自動車・バイクによる入構はできません。)

対 象：堺市民、関西大学学生、教職員、その他

参加費：無 料

※ 申込方法は裏面をご参照ください。

問合せ：関西大学堺キャンパスグループ

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1

072-229-5022（代表）

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/



講師プロフィール

第1回 竹内 洋 (たけうち よう)

京都大学大学院教育学研究科研究科長・学部長などを経て現職。専門は歴史社会学、教育社会学。96年に「日本のメリトクラシー」(東京大学出版会)で第39回日経経済図書文化賞を受賞。『教養主義の没落』(中公新書)ほか。

第3回 岡田 忠克 (おかだ ただかつ)

大阪産業大学を経て現職。専門は社会福祉政策で、主に福祉行政及び運営管理の国際比較研究を行っている。主著に『社会福祉の理論と政策』(中央法規出版)、『よくわかる社会福祉』(ミネルヴァ書房)ほか。

第5回 伊藤 公雄 (いとう きみお)

大阪大学人間科学部などを経て現職。専攻は文化社会学、ジェンダー論。主な著書、編著書に『社会学ベーシックス』(世界思想社、全11巻)『ジェンダーの社会学』(放送大学テキスト)『「男らしさ」という神話』(NHK出版)ほか。

第2回 佐藤 卓己 (さとう たくみ)

東京大学新聞研究所、同志社大学などを経て現職。専門はメディア史。『「キング」の時代』(岩波書店)で日本出版学会賞、サントリー学芸賞を、『言論統制』(中公新書)で吉田茂賞を受賞。『輿論と世論』(新潮選書)ほか。

第4回 三浦 敏弘 (みうら としひろ)

明治国際医療大学、関西大学文学部を経て現職。専門は理系分野を視野に入れながら研究志向を人間行動文化に融合するものである。Deep pain measurement at tender point by pulse algometry with insulated needle electrodes, Pain, 1992。『自己を語る 身体表現』(冬弓舎出版)。

第6回 杉本 厚夫 (すぎもと あつお)

広島大学、京都教育大学を経て現職。専門はスポーツ社会学、臨床社会学、子ども文化論。実際に、子どもたちとキャンプをしたり、遊んだりして実践的な研究を行っている。『「かくれんぼ」ができない子どもたち』(ミネルヴァ書房)ほか。

(申込方法)

FAXまたはハガキにて、①郵便番号・住所②お名前・ふりがな③年齢④電話番号⑤希望される講座の開催日をご記入の上、締切日必着でお送りください。複数の講座を一括でお申し込みいただいても結構です。講座開催の3日前までに聴講券を送付いたしますので、当日ご持参ください。

(定員) 150名。応募者多数の場合は、抽選にて決定。当選者・落選者ともに通知いたします。

(宛先) 関西大学堺キャンパス「すこやか教養講座」係

(FAX) 072-229-5082

(住所) 〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1

FAX 送信用紙

関西大学堺キャンパス すこやか教養講座 (第2期)

住所 〒	—
ふりがな 氏名	年齢
電話番号	—

参加	開催日	テーマ・講師	申込締切
	5月21日(土)	石坂洋次郎の時代(竹内 洋)	5月6日(金)
	5月28日(土)	『青年の主張』が消えた理由(佐藤 卓己)	5月13日(金)
	6月11日(土)	子どもの貧困について考える(岡田 忠克)	5月27日(金)
	6月25日(土)	健康的な睡眠『夢』世界(三浦 敏弘)	6月10日(金)
	7月2日(土)	高齢社会と男性の生き方(伊藤 公雄)	6月17日(金)
	7月16日(土)	『かくれんぼ』ができない子どもたち(杉本 厚夫)	7月1日(金)

参加を希望される日の「参加」欄に○をご記入ください。